

# 自己点検・自己評価 報告書

## 令和5年度

評価対象期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日

学校法人 赤門学院  
専門学校 赤門自動車整備大学校

# 令和5年度 自己評価表

## (1) 教育理念・目標

項目名	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
学校理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	
学校における職業教育の特色は何か	4⇒3	
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3	
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3	
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3	

### [1. 課題]

教育理念と目標は明確に定められ取り組んでおり、概ね適切と思われる。豊かな人間性・協調性・コミュニケーション力を持ち、自動車整備士としての知識・技能を併せ持つ人材育成に向け、グループ・ディスカッションなども取り入れて実践している。特に学生のコミュニケーション力は個人差が大きく、成果が出るまでに時間が掛かるケースもある。

近年増加している外国人留学生については、将来日本で就職して働くをことを想定し、日本語力や日本の文化・生活習慣も含めた指導が行われており、日本語力の個人差が大きく理解を得られにくい面も見受けられることから、指導側もさらなるレベルアップを目指して取り組んでいく必要がある。

近年著しい自動車の技術革新や脱炭素化などにも対応できる知識・技術を身に着けた人材育成をしていくことも重要である。

### [2. 今後の改善方策]

掲げている教育理念・目標に向かって今後も学校と学生が一丸となり、統一して行っていくことが重要である。人材育成については、豊かな人間性と協調性に富んだ人材を育成するためにカリキュラムの見直しや、工夫された教育プログラムを作成していく必要がある。

自動車整備士としての知識・技術面においては、新しい技術などにも対応できる人材を育成するために、使用する教材の見直し・充実化や、授業内容についても常に改善を意識して取り組んでいく。

外国人留学生については、留学生特有の事情を考慮した教育方針を別途取組み、日本で活躍できる人材育成を目指していく。

コミュニケーション力向上のためにグループ・ディスカッションを実施しており、更なる工夫を取り入れて成果の向上を目指し取り組んでいく。

### [3. 特記事項]

電気自動車技術の習得に特化した専門職大学「電動モビリティシステム専門職大学」を設立し、令和5年4月に開学している。また、自動車整備士資格の見直しが行われたことで、令和9年1月1日より自動車整備士の区分が新しい制度に以降することが決定している。

# 令和5年度 自己評価表

## (2) 学校運営

項目名	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
目的等に沿った運営方針が策定されているか		3
運営方針に沿った事業計画が策定されているか		3
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか		3
人事、給与に関する規程等は整備されているか		3
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか		3
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか		3
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか		3 ⇒ 4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか		3

### [1. 課題]

目的に沿った運営は概ね策定されており、組織及び担当業務についても組織図の中で明確化され、教育活動も、実施後の早い段階でホームページで公開している。業務については1人当たりの担当業務が増加傾向にあるのが現状であり、教員では授業以外の業務で時間を取られることも多くなっている。また、情報システム化による業務の効率化については、職員へのパソコン割り当ても充実してきている。パソコンの運用面では、特定の職員に業務が集中することも多くなり負担も大きく、帳票類のフォーマットの統一もされているが、各個人でのデータ保管及び活用を行っている職員も多く、重複した作業を行っている為、効率化が必要である。

### [2. 今後の改善方策]

データ提出時のフォーマットが統一されていない部分もあり、各帳票類の統一化を行い効率化を進め、パソコン業務の指導を行っていく。また、授業で使用するマニュアル等についても、共有パソコンに保管して教員が閲覧でき、同じデータを使用できるように進め、作成時間の短縮及び情報共有で効率化を図っていく。また、担当業務の漏れの無い引継ぎと引継ぎ時間の短縮を図る為、業務マニュアルの充実化を進める。

### [3. 特記事項]

全国的に職員の人員確保が難しくなっている状況であるが、業務の効率化や人員確保を行い、業務の分散化を図っていく必要がある。

# 令和5年度 自己評価表

## (3) 教育活動

項目名	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか		3
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか		3
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか		3
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか		3
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか		3
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか		3
授業評価の実施・評価体制はあるか		3
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか		3
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか		4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか		3
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか		2⇒3
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントがおこなわれているか		3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか		3
職員の能力開発のための研修等が行われているか		3

### [1. 課題]

- ・ 人員不足による業務の負担増加。教員の人財確保と業務内容の明確な分離化（教務、学務等）
- ・ 資質ある教員の採用と育成。
- ・ 教員毎の知識技術や感覚的差がある為、研修を行っていても授業内容や学生指導方法にも影響がでている。

### [2. 今後の改善方策]

- ・ 求人継続をし早急的な教員確保と業務の分離化。特に教務と学務業を現在以上に分担する事が必要。
- ・ 研修や打合わせの出来る時間の確保し授業内容の充実を図る。
- ・ 職業人、教員としての基本的考えの共通化を向上させる為に、細かい問題点などもスピード感を持ち業務を進める。
- ・ 外部企業等と現在以上に連携出来る体制作りを強化していく。

### [3. 特記事項]

--

# 令和5年度 自己評価表

## (4) 学習成果

項目名	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
就職率の向上が図られているか		4 ⇒ 3
資格取得率の向上が図られているか		3
退学率の低減が図られているか		3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか		3 ⇒ 2
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか		3 ⇒ 2

### [1. 課題]

就職率は高く、就職課、担任により個別の就職指導、相談を行い、進路指導時間による一般常識問題の実施や面接対策として模擬面接を行うことにより試験対策の強化を行っている。資格取得に関しては、各種資格講習等の案内を行い、積極的に参加させているが、留学生においては、金銭面等での理由により資格取得は見込みが難しい。自動車整備士国家試験については、合格率も高く、100%を目指した指導方法を実施しているが、留学生の日本語能力の理解向上が課題である。退学率に関しては、学生相談窓口を設置、又、担任から校長間、保護者との連携を取り、情報を共有している。更なる退学者を増やす事のないよう魅力ある学校づくり、学生の満足度の向上に努める必要がある。

### [2. 今後の改善方策]

就職に関しては、面接が不得手な学生も年々目立ってきており、早い時期からの面接練習等の就職試験対策の強化、社会性と順応性を高めるための生活指導を継続して行っていく。留学生においては、就職先の確保及び維持、日本企業への適応を高める事を意識した指導を行っていく。資格取得率は、国家資格取得率100%を達成維持していく上で、留学生の日本語能力の底上げが必要課題であり、その為の授業の構築、指導力の向上、教職員間での情報共有を図る事で、学生満足度を高め、退学率の低減にも繋げていく。卒業後の把握については、各企業への卒業生実態についての調査依頼を強化、継続し行っていくことにより、卒業生の活動状況を学生へ紹介する事で将来のビジョンを明確にし、学習意欲を高め自発的に学習する教育に繋げていく。

### [3. 特記事項]

--

# 令和5年度 自己評価表

## (5) 学生支援

項目名	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
進路・就職に関する支援体制は整備されているか		3
学生相談に関する体制は整備されているか		3
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか		3
学生の健康管理を担う組織体制はあるか		4
課外活動に対する支援体制は整備されているか		3
学生の生活環境への支援は行われているか		3
保護者と適切に連携しているか		3
卒業生への支援体制はあるか		3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか		3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか		3

### [1. 課題]

進路・就職や学生相談に関する支援体制では担任の負担が大きく、特に個別の対応は内容等も含め時間的に難しい面がある。

### [2. 今後の改善方策]

相談内容による担当や業務・役割の分担、時間的な確保が必要と思います。

### [3. 特記事項]

# 令和5年度 自己評価表

## (6) 教育環境

項目名	適切・・・4	ほぼ適切・・・3
	やや不適切・・・2	不適切・・・1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか		2
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか		3
防災に対する体制は整備されているか		3

### [1. 課題]

自動車メーカー及び販売店の協力により、実習車両、エンジン、ミッション、デファレンシャル等々の教材も充実してきました。しかし、教材個数は確保できているが古い教材も多く、教科書に沿った教材への入れ替えが必要である。また、校舎によっては老朽化が進んでいる。  
令和5年度より2級科1年生及び1級科3年生が就職を希望している販売会社へのインターンシップを夏休みに実施することができたことで、学生の就職に対する意識付けができました。今後もより多くの学生が参加できるような仕組みづくりが必要となります。

### [2. 今後の改善方策]

耐用年数が経過している教材については、破損、欠品等を確認して廃棄する場合に不足分を入れ替えて行く必要がある。  
就職を控えた学生のインターンシップは夏休み中に実施のため希望者も多く、受け入れ人数及び日程が合わずに断念する学生もいたため、早期計画で販売会社へ依頼し、より多くの学生が参加できるように計画する。

### [3. 特記事項]

防災訓練は北海道・三陸沖後発地震対策を踏まえ、入学後の早い段階で4月20日に実施した。

# 令和5年度 自己評価表

## (7) 学生の受入れ募集

項目名	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
学生募集活動は、適正に行われているか	3	
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	
学納金は妥当なものとなっているか	3	

### [1. 課題]

日本人学生の確保が1番の課題となっている。留学生に関しては在学生からの紹介も多く、本年度は順調に推移しているものの、日本人に関しては数が減少している。他校との差別化及び、より多くの中学・高校生に学校の魅力を発信していくことが必要。学納金に関しては妥当な金額であるものの、滞納する留学生が増えてきている。

### [2. 今後の改善方策]

競合校との比較で、差別化を行い学校全体で募集を行う体制が必要。自動車整備志望者が減少する中、自動車業界に対して魅力を感じてもらえるような情報の提供。学校見学会やホームページを充実させて本校の魅力を発信する。テレビCMの強化とSNSの有効活用。学生の満足度を高める事が、在校生の校内進学を増やし、内部から魅力を発信していくことに繋がる。留学生の学納金の納入に関しては納入期日を守ってもらう為の計画的な指導を継続する。

### [3. 特記事項]

--



# 令和5年度 自己評価表

## (8) 財務

項目名	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか		3
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか		3
財務について会計監査が適正に行われているか		3
財務情報公開の体制整備はできているか		3

### [1. 課題]

当法人の財務基盤は現状安定してはいるが、長期的な視点では今後も入学生の確保が難しい状況は変わらないと思われ、学生納付金収入の大幅な増加を見込むことはできない。この状況下で、いかにして教育水準の維持向上、収支均衡を実現して行くかが今後の課題である。

### [2. 今後の改善方策]

各部門からの予算・収支計画と予算履行の検証と分析を行い、公認会計士及び監事と協力し、業務改善等を受けていく。

### [3. 特記事項]

--

# 令和5年度 自己評価表

## (9) 法令等の遵守

項目名	適切・・・4 やや不適切・・・2	ほぼ適切・・・3 不適切・・・1
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3 ⇒ 4	
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	
自己評価結果を公開しているか	4 ⇒ 3	

### [1. 課題]

個人情報について、教職員によって意識の温度差があり、自己評価の結果を受けての改善が芳しくない。

### [2. 今後の改善方策]

個人情報に関する教職員の意識の向上および自己評価を実施できる体制の構築。

### [3. 特記事項]

自己評価の実施と改善は、学生確保の観点からも重要。

# 令和5年度 自己評価表

## (10) 社会貢献・地域貢献

項目名	適切・・・4	ほぼ適切・・・3
	やや不適切・・・2	不適切・・・1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか		3
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか		2
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか		3

### [1. 課題]

赤門学院祭やテストコース貸し出しについての広報活動。ボランティア団体との繋がり。

### [2. 今後の改善方策]

赤門学院祭やテストコース貸し出しについての周知活動には、ある程度の予算が必要であるが、集客・学校の知名度向上等、費用対効果は低くないと考えられる。

### [3. 特記事項]

学生ボランティアの奨励、支援は関連団体との繋がり構築されるとともに、学生の人材育成にも期待が持てる。